

《北海道遺産》
アイヌ文様
(北海道各地)



大切に受け継がれて来た美しき文化遺産

世界の各民族には、それぞれ独特の精神的意味合いを含めた「文様」がある。アイヌ文様の基本はモレウ（静か・曲がる：渦巻き文様の意）、アイウシ（とげ・つく：とげ文様の意）で、これらを組み合わせ、連続した線で結んでいく。その形状、図案や色彩は、印象深い美的価値を含んでおり、文化的にも秀逸なものとして近年、注目が高まっている。

(北海道遺産公式サイト <https://www.hokkaidoisan.org/> より引用)

【写真】アイヌ文様の民族衣装

INDEX

- 3~5 HOPE2022盛況に開催される
- 6 HOPE2022セミナー開催される
- 7 日本経済新聞全国版に「意見広告」掲載
- 7 北海道最低賃金改正のお知らせ
- 8-9 全印工連特別ライセンスプログラム「Adobe Creative Cloud」新規募集のご案内
- 10 令和4年度全青協北海道ブロック協議会・第28回北海道青年印刷人フォーラム開催のご案内
- 10 令和4年度DTP技能検定のご案内

北海道印刷工業組合

〒062-0003 札幌市豊平区美園3条5丁目1番15号 原ビル
TEL.011-595-8071 / FAX.011-595-8072

[Website] <https://www.print.or.jp> [E-mail] info@print.or.jp



HOPE2022盛況に開催 INSATSU未来トランスフォーメーションをテーマに躍進

北海道印刷工業組合と関連4団体で構成するHOPE実行委員会が主催するHOPE(HOKKAIDO PRINT EXPO)2022が、「INSATSU未来トランスフォーメーション」をテーマに、新型コロナウイルス感染防止に最大限配慮して、9月7日・8日の2日間、札幌市白石区のアクセスサポロで開催され、展示会に2,297人、セミナーに190人、合計2,487人の来場者で賑わった。

HOPE2022は、展示会とセミナーの両建てで構成し開催され、展示会には35社76小間が出展し、セミナーは実行委員会主催の基調講演、テクニカルセミナーの2セッション、5社5セッションの出展社企画セミナーが行われた。

初日の9月7日午前9時30分から開会式が、通常の設定で開催された。



最初に、主催者を代表して岸昌洋 HOPE実行委員会会長（北海道印刷工業組合理事長）が、「今日は来賓として多くの皆さんに多忙のなか臨席賜り、お礼申し上げます。あいさつに先駆け、出展・出講いただいたメーカー、ベンダーの皆さん、搬入・搬出、各種施工・工事に携わっていただいた関係者の皆さんに実行委員会を代表して厚くお礼申し上げます。昨年はコロナ禍において緊急事態宣言中の開催となった。今年は未だ感染拡大が予断を許さない状況ではあるが、開会式も制限を掛けない設えで行わせていただいている。HOPE(HOKKAIDO PRINT EXPO)は、北海道、この地で昨今の印刷産業の置かれている現状と未来に向けた情報を共有する場として自社を変革し、お客様を、そして世の中が便利になる産業として居続けられる、そのヒントが詰まっている。1993年から歴史を積み今年で29年目となる。今の時勢にマッチしているイベントである。新しい形の産業として発展を続ける印刷産業を来場いた

だいた方自身の目で確認いただけることを切に願う」と開会のあいさつを述べた。

次に、来賓7人の紹介が行われ、うち5人から祝辞が述べられた。



辻純朗経済産業省北海道経済産業局地域経済部長は、「近年の印刷業界においては活字離れや消費行動の変化による需要の減少、さらにはコロナによる受注の減少やエネルギーに代表されるコストの増加など取り巻く環境は非常に厳しく変化をしているものと認識している。しかし、こういう厳しい環境であるからこそ、今まで培ってきたノウハウに加え、技術革新が目覚ましいAI、IoTなどの先端技術を活用し新たなサービスの提供や新分野への挑戦が求められている。本イベントは先端技術を活用した最新機器やサービスが多数紹介される情報発信の場と全日本印刷工業組合連合会の滝澤会長の講演をはじめとする各種セミナーの学びの場から構成されている。この2つの場を通じて企業間の新たな出会いが数多く生まれ、ビジネスの成長・発展につながることを期待している。政府でも地方の活性化、世界につながるデジタル田園都市構想の実現のために中小企業の設備投資を応援している。生産性向上は極めて重要なテーマであるので、税制および補助制度を拡充して支援する。北海道経済産業局でも中小企業のDXを加速するため相談・支援体制を整

備するとともにものづくり補助金等を通じてDX導入による生産性向上の取組を進めていく。このような事業者の皆さんへの支援を通じてコロナ禍等の苦難を乗り越え、強い北海道経済を共に作り上げるため今後も共に歩みを進めていきたい」と述べた。



佐藤正人 氏

佐藤正人北海道経済部産業振興局産業振興課長は、「最近の本道の景気動向は、一部に弱い動きが見られるものの食品や紙類の輸出が前年を上回るなど緩やかに持ち直しているが、有効求人倍率が14カ月連続で前年を上回る状況となっており、人手不足感が高まっている。こうしたなか道としては本道経済の活性化に向け、withコロナの長期化を見据えた中小・小規模企業の維持・継続やポストコロナを見据えた新たな社会経済への変化への対応力強化、人材の育成・確保に取り組むとともにコロナ禍の影響に加え、原材料など価格高騰に対する事業者の支援、道民への生活の影響の軽減を図る取組を進めている。新型コロナウイルスの流行が社会経済に大きな影響を及ぼし、デジタル化、脱炭素化、国際的なサプライチェーンの再編といった社会全体に大きな変革をもたらす動きが見られているなか、印刷産業は製造業として印刷技術の革新に取り組むことはもとより情報価値創造産業へと変容し、情報加工やコンテンツビジネスを展開するなど新たな需要への対応が求められている。そのようななか、2016年から先進事例、技術など印刷業界の学びと情報発信の場であるHOPEとして道内印刷業界の皆さんが時代の変化に対応するため、業界が一丸となって積極的な活動をされているということは大変意義深く心強く感じている。印刷業界の皆さんは長年培ってきた高い技術を活かし、道内各産業のさまざまな事業活動に貢献いただき、今後とも本道経済のさらなる発展に力添えをいただきたい」と述べた。

小室匡札幌市経済観光局産業振興部地域産業振興課長は、「札幌の製造業において印刷業は食品製



小室 匡 氏

造業に次ぐ事業所数、従業者数であるなど札幌市の主要な産業の1つであるのはデータを持っても明らかであり、印刷業に携わる皆さんには今後も札幌の経済を支える基幹産業の担い手としてますます活躍いただけるよう期待を申し上げます。昨今の製造業においては人口減少や高齢化、人手不足など非常に厳しい環境にあると我々も承知している。これら直面する諸課題をIoT、AIなどを通じて新たな付加価値の創出や生産性の向上などにつなげていくことが重要と思う。札幌市のホームページを覗いていただけるといろいろな支援メニューを用意している」と述べた。



滝澤光正 氏

滝澤光正全日本印刷工業組合連合会会長は、「セミナーと展示会を組合わせた学びと情報発信の場として今回で衣替えをして6回目を迎えるHOPE2022が印刷未来トランスフォーメーションをテーマに掲げ、盛大に開催されることを心より喜びを申し上げます。今回のHOPE2022ではこれまでの開催の成果を踏まえ、さらに工夫を凝らし学びと情報発信の場としてより有

効に活用できるよう情報発信の展示会ではこれからの印刷産業として勝ち残るための最新の機器、技術、サービス等が紹介され、また学びの場としてのセミナーでは実行委員会主催セミナーや出展社企画セミナーが数多く用意され、経営・営業・技術等の全般にわたり印刷経営に役立つヒントが随所に散りばめられ広く勉強する場になっている。参加される印刷関連業やユーザーの方々が共に課題解決の糸口を見出し、印刷業界全体の発展に結びつけていただきたいと期待をしている。今回のテーマに必要とされるデジタルトランスフォーメーション (DX) は、私ども全印工連では生産設備の稼働率向上と最適化、受注業務や生産管理業務の合理化、そしてそれらによる新たな価値創出の実現を目指したDX-PLATというシステムをいよいよ来月より本格稼働する。高付加価値コミュニケーションサービス産業への変換を目指し、今や私たち印刷産業の構造改革は待った無しである。このHOPE2022の開催が活力ある印刷産業として持続的な発展の発信力になることを期待している」と述べた。



岡本 泰氏

岡本泰 一般社団法人日本グラフィックサービス工業会会長は、「先ほど全印工連の滝澤会長から話のあったように印刷業界全体は待ったなしのトランスフォーメーション、業界進化・変革といったところが課題となっている。

JAGRAの方も遅ればせながら本年6月よりコンパクトDXということで新たな取組をはじめている。DXというのは手段であり、問題なのはどうトランスフォームしていくか、どう未来の印刷業界を創っていくかということが肝心である。難しい話はいろいろあるが、

簡単に言えば印刷会社なのだが、お客様からみたらコンテンツビジネスの会社であったり、システム開発であったり、ホームページの制作会社であったりと、こういうことだろうと思っている。業界団体の枠を超えてこの待った無しのトランスフォーメーションを追求していくことが必要である。それを捉える1つの例としてHOPE2022のテーマに掲げられてやられることには大変敬意を表す。JAGRAとしても業界一致団結して新しい方向性を出して、いろいろなことを印刷会社の会員の皆さんに提示して選択肢が出せるようにしていきたい」と述べた。

続いて、来賓の辻純朗経済産業省北海道経済産業局地域経済部長、佐藤正人北海道経済部産業振興局産業振興課長、小室匡札幌市経済観光局産業振興部地域産業振興課長、滝澤光正全日本印刷工業組合連合会会長、岡本泰 一般社団法人日本グラフィックサービス工業会会長、松浦豊北海道中小企業団体中央会専務理事、岸昌洋HOPE実行委員会会長によるテープカットが行われ、HOPE2022が開幕した。



HOPE2022セミナー開催される

HOPE2022セミナーが、9月7日、8日の2日間、札幌市白石区のアクセスサッポロで実行委員会主催の基調講演とテクニカルセミナー2セッションと、5社5セッションの出展社企画セミナーが、新型コロナウイルス感染防止に万全の対策を施し開催された。

セミナーを写真グラフで紹介する。

9月7日(水) 基調講演	
提 供 : HOPE実行委員会 テーマ : 「DXによる新たな価値創造」 講 師 : 全日本印刷工業組合連合会会長 滝澤光正 氏	
9月7日(水) セミナー①	
提 供 : 共同印刷機材株式会社 テーマ : 「断裁機安全衛生講習会」 講 師 : 図書館用品・諸製本タナカ店主 田中 稔 氏 (イトーテック株式会社断裁機特別教育派遣講師)	
9月7日(水) セミナー②	
提 供 : ハイデル・フォーラム21北海道地区会 テーマ : 「営業支援セミナー『印刷営業のための最新トレンド』」 講 師 : ハイデルベルグ・ジャパン株式会社 エクイップメントソリューションズ本部シニアマネージャー 曾條靖之 氏	
9月8日(木) テクニカルセミナー	
提 供 : HOPE実行委員会 テーマ : 「全てのデザイン&コンテンツは『動画との掛け算』で強くなる」 講 師 : スタジオねこやなぎ代表 大須賀 淳 氏	
9月8日(木) セミナー③	
提 供 : コニカミノルタジャパン株式会社 テーマ : 「コニカミノルタが創る印刷のミライ ～印刷ビジネスDXへの取り組みと最新機器のご紹介」 講 師 : コニカミノルタジャパン株式会社 プロフェッショナルプリント事業部 事業支援統括部商品戦略部部長 内田 剛 氏	
9月8日(木) セミナー④	
提 供 : リコージャパン株式会社 テーマ : 「IGAS2022の事前情報満載『今、見るべきポイントはコレだ!』」 講 師 : 株式会社バリューマシインターナショナル 取締役副社長 宮本泰夫 氏	
9月8日(木) セミナー⑤	
提 供 : 富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ株式会社 テーマ : 「印刷会社の持続的成長を支える最適生産ソリューション」 講 師 : 富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ株式会社 DS営業部課長 田村和大 氏	

日本経済新聞全国版に「意見広告」掲載 日印産連と会員10団体

一般社団法人日本印刷産業連合会は、印刷工業会・全日本印刷工業組合連合会・日本フォーム印刷工業会・一般社団法人日本グラフィックサービス工業会・全日本製本工業組合連合会・日本グラフィックコミュニケーションズ工業組合連合会・全日本シール印刷協同組合連合会・全国グラビア協同組合連合会・全日本スクリーン・デジタル印刷協同組合連合会・全日本光沢化工紙協同組合連合会の会員10団体と連名で、日本経済新聞9月14日、朝刊・全国版に、昨今の原材料費の高騰やエネルギーコストの上昇に対し、印刷業界として価格転嫁への理解を訴える内容の記事下全5段の「意見広告」を出稿した。

政 府が推進する「価格交渉強化月間」である9月に合わせ、「9月印刷の月」記念式典の当日に広告を掲載した。

意見広告の内容は、窮状を訴えるだけに止まらず、「近年の環境・社会・経済の大きな変動や長引くコロナ禍を、高付加価値コミュニケーション産業へ業態を大きく転換していくチャンスと捉え、さらにサービス・品質・企画提案力を向上させ、価格を超える価値を提供していく」とし、「感動と夢を与える新たな印刷産業」への期待を訴え、「価格転嫁への理解」を求めたものとなっている。

印刷業界「意見広告」 2022年9月14日(水) 日本経済新聞 全国版/朝刊 掲載

多くの印刷物や印刷関連の製品・サービスは、常に私たちの文化を育み、心豊かな生活を支えてきました。そして、近年の環境・社会・経済の大きな変動や長引くコロナ禍のなかで、あらゆる産業と関わりのある印刷産業が果たすべき役割・責任はさらに大きくなっていると実感しています。

このような変化に対して私たち印刷産業は、従来の請負型受注印刷業態から「高付加価値コミュニケーションサービス産業」へと業態を大きく転換させるチャンスと捉え、デジタル分野やBPOなどの新領域・環境に配慮した包装材の開発、SDGsへの対応など、新たな取り組みにチャレンジしています。

一方、エネルギーや原材料の価格高騰、グローバルなサプライチェーンの課題や円安など厳しい事業環境が続くなか、生産性の向上やコスト削減などの改善を続けてまいりました。これからもさらにサービス・品質・企画提案力を向上させ、必ずや価格を超える価値を提供してまいりますので、皆様におかれましては、価格転嫁にご理解いただけますとともに、感動と夢を与える新たな印刷産業にご期待くださいますようお願い申し上げます。

一般社団法人 日本印刷産業連合会
印刷工業会
全日本印刷工業組合連合会
日本フォーム印刷工業連合会
一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会
全日本製本工業組合連合会
日本グラフィックコミュニケーションズ工業組合連合会
全日本シール印刷協同組合連合会
全国グラビア協同組合連合会
全日本スクリーン・デジタル印刷協同組合連合会
全日本光沢化工紙協同組合連合会

Change Together 感動と夢を与える新たな産業へ

一般社団法人 日本印刷産業連合会
Japan Federation of Printing Industries
〒104-0041 東京都中央区新富1-16-9 日本印刷会館内
TEL 03-3553-8551 FAX 03-3553-6079
https://www.jpfi.or.jp/

北海道最低賃金のご案内

令和4年10月2日改正

北海道内で事業を営む全産業の使用者およびその事業場で働くすべての労働者（臨時、パートタイマー、アルバイト等を含む）に適用される北海道最低賃金（地域別）が、次のとおり改正された。

最低賃金額

時間額 **920円**（令和4年10月2日改定）

- 最低賃金には、精皆勤手当、通勤手当、家族手当、臨時に支払われる賃金および時間外等割増賃金は算入されない。
- 最低賃金額以上の賃金を支払わない場合は、最低賃金法違反として処罰されることがある。



Adobe Creative Cloud

全印工連 特別ライセンスプログラム



新契約募集プラン・特別価格のご案内

2011年に開始いたしました「全印工連特別ライセンスプログラム」は、本年で11年目を迎え、12月1日より、新契約(2022.12.1~2025.11.30)がスタートいたします。本年も一般流通価格より安価な全印工連組合員企業限定の特別価格でご提供いたしますので、ぜひこの機会に、お申込みの検討をお願いします。

コンプリートプラン限定 初年度割引キャンペーン

初年度 **78,000**円/年 (6,500円/月) 初年度のみ:1本につき23,244円割引

3年契約 2年目:82,800円/年 + 3年目:82,800円/年

コンプリートプラン価格比較 (3年間合計) 303,732円 (一般) / 243,600円 (全印工連)

3年間で**60,132**円もお得!!

※表示価格は全て税抜です。

※2022年12月1日の契約時点でコンプリートプランを50本以上お申し込みの場合は5%の割引、100本以上お申し込みの場合は8%割引で、上記価格よりさらに割引いてご提供いたします。(いずれも割引対象はコンプリートプランのみ)

2022年10月
申込受付開始

契約期間 3年契約) ▶次項の参加条件 契約事項を必ずご確認ください。

2022年12月1日 ≫ 2025年11月30日

当カタログの内容は2022年7月現在のものです。申込等の詳細内容は、追ってご案内申し上げます。お得な内容をご検討の上、しばらくお待ちください。



Adobe Creative Cloud

全印工連 特別ライセンスプログラム

全印工連組合員企業だけの特別ロープライスを実現!

今回の3年契約は一般流通価格と比較して、コンプリートプラン1本で60,132円の割引を実現!
前回の3年契約(2019年12月1日~2022年11月30日)より1本あたり計600円安くなります!

単体プラン、Acrobat Proは、現契約価格据え置きのままご提供!

※前回の3年契約(2019年12月1日~2022年11月30日)にご契約いただいた組合員様におかれましては、今回の新契約において価格の値上げが一切ございません!!

コンプリートプラン

※各プランの表示価格は全て税抜です。

20種以上の Adobe Creative Cloud 全アプリケーションをご利用できます。



コンプリートプラン限定
初年度割引キャンペーン

1本につき
23,244円
OFF!!

コンプリートプラン法人版の一般流通価格
101,244円/年(8,437円/月)

1本につき
18,444円
OFF!!

78,000円/年(6,500円/月)

初年度(2022年12月~2023年11月)のみ年間4,800円割引にてご提供します!!

全印工連CC コンプリートプラン(2・3年目)
82,800円/年(6,900円/月)

初年度: 78,000円/年 + 2年目: 82,800円/年 + 3年目: 82,800円/年
243,600円(3年間合計)

一般流通価格: 303,732円(3年間合計)よりも
3年間で60,132円もお得!!

こちらもお得!

単体プラン

Adobe Creative Cloud
の中から必要なアプリケーションを1つずつ選んでご利用できます。



単体版の一般流通価格
47,784円/年(3,982円/月)

1本につき
17,784円
OFF!!

全印工連CC 単体プラン
30,000円/年(2,500円/月)



Acrobat Pro の一般流通価格
22,560円/年(1,880円/月)

1本につき
2,160円
OFF!!

全印工連CC Acrobat Pro 単体プラン
20,400円/年(1,700円/月)

無料セミナーの拡充

実務者向けフォローアップ無料セミナーを
回数を増やして隔月6回開催でお届けいたします!

マイページの開設

専用の「マイページ」で、見積・発注・契約内容の確認など
各種お手続きがWEBサイト上でご利用可能になります!

▶参加資格: 全印工連加盟47都道府県印刷工業組合に所属する「組合員企業」

(準組合員・賛助会員は対象外となります)

▶契約期間: 2022年12月1日より2025年11月30日まで(3年契約)

途中解約、契約途中のプラン変更、契約ライセンス数の削減、返金はできません。

▶参加条件: 本プログラムに参加するためには、以下の諸条件についての同意が必要になります。

- ① 契約期間中は全印工連がサブスクリプション(期限付き使用权)の管理を行います。
- ② 契約期間中に購入本数に対して使用する本数が減った場合(あるいは利用しなくなった場合)でも、契約ライセンス数を減らすことはできません。ただし、新規ライセンス数の追加購入は可能です。
- ③ ご利用にあたっては、利用開始時に製品への認証のためAdobeID(メールアドレス形式)の作成、登録が必要になります。

※Adobe Creative Cloud(CC)は、一定期間の使用权を購入する、サブスクリプション(期限付き使用权)形式の製品です。

詳細は説明動画をご覧ください。 <https://printing-college.com/>



全日本印刷工業組合連合会

〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8 日本印刷会館4F TEL:03-3552-4571 FAX:03-3552-7727

<https://www.aj-pia.or.jp/>



令和4年度全国青年印刷人協議会北海道ブロック協議会 第28回北海道青年印刷人フォーラム開催のご案内

北海道印刷工業組合青年部委員会は、令和4年度全国青年印刷人協議会北海道ブロック協議会・第28回青年印刷人フォーラムを下記により開催する。

今期の事業推進テーマは、「本業（じく）を変えない儲かりノベーション」である。
各社それぞれ本業以外に収益をもたらしているものは何かを探りながら、利益イノベーションをして収益モデルを改善していくという取組となっている。

今回の協議会では、推進テーマに関するセミナー、ワークショップを予定している。

記

開催日時	令和4年10月22日（土）協議会13:00～17:00／懇親会17:30～	
開催場所	【協議会】 札幌コンファレンスホール コンファレンスA 《住所》札幌市中央区南3条西2丁目6-1-2 KT 三条ビル2F	
	【懇親会】 人数の集計後、確定し後日案内。	
プログラム	挨拶	全青協議長 岩村貴成氏
	セミナー	全青協指名副議長 岩月琢也氏
	ワークショップ	全青協副議長 齊藤満生氏
会費	会議費：3,000円／懇親会費：未定	
参加申込	北海道印刷工業組合ホームページより参加申込書をダウンロード https://www.print.or.jp/training/forumseinen28th.html	

令和4年度DTP技能検定のご案内

厚生労働省の令和4年度技能検定プリプレス職種「DTP作業」が実施される。

DTP作業従事者の皆さんへの教育の一環として活用でき、スキルアップに繋がる。

令和4年度後期に実施されるプリプレス職種「DTP作業」の主な内容は次のとおり。

記

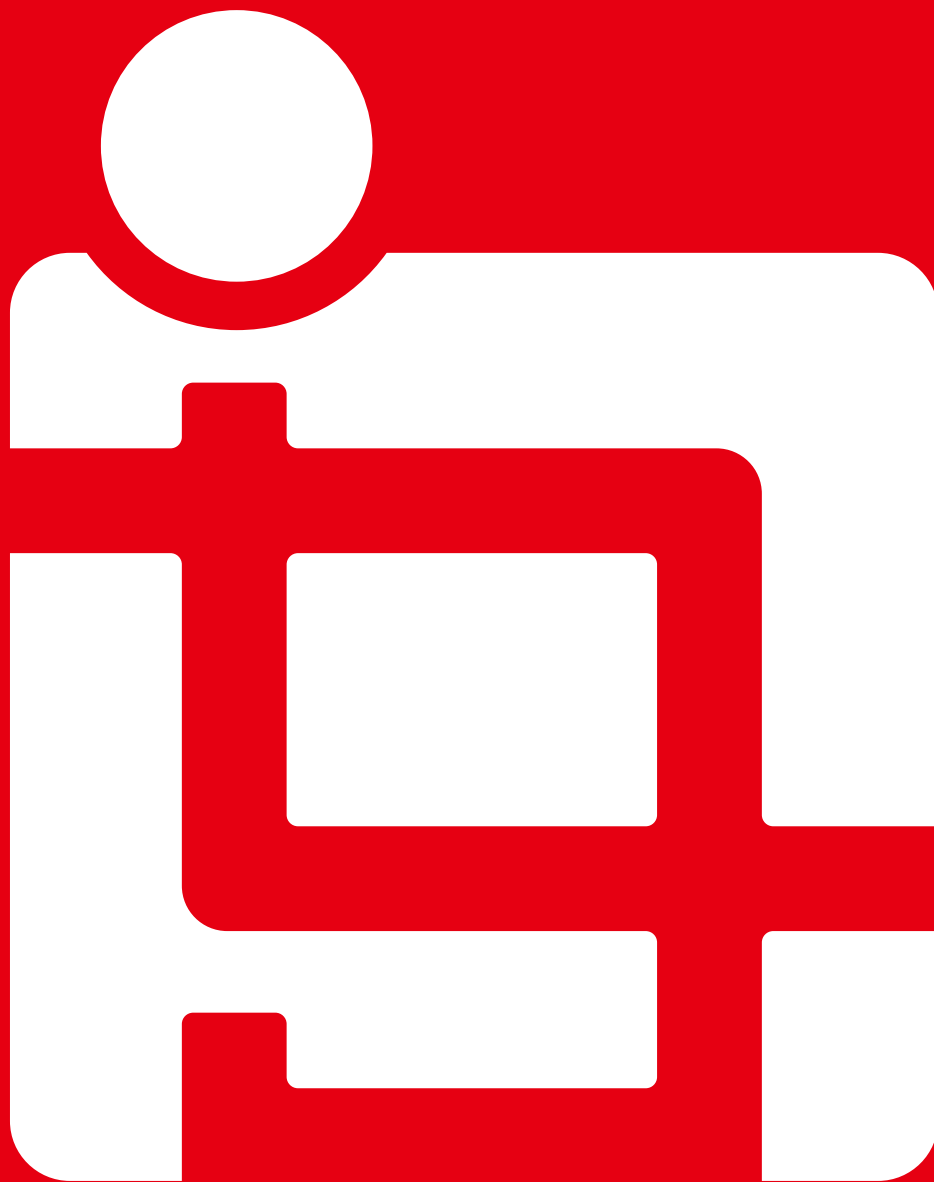
受検申請受付	令和4年10月3日(月)～同14日(金)	実技試験日	令和5年1月中～同2月上旬
実技試験会場	北海道立札幌高等技術専門学院（札幌市東区北27条東16丁目） 北海道立旭川高等技術専門学院（旭川市緑が丘東3条2丁目） <small>※受検者数によって1会場になる場合がある。</small>		
学科試験日程	令和5年2月5日(日)		
学科試験会場	札幌市・旭川市・函館市・滝川市・北見市・室蘭市・帯広市・釧路市の指定する会場		
実技試験内容	DTPアプリケーションを使用し、提示された指定書により、支給された課題データを組版・編集し、カラープリンターにより出力する。		
受検区分	1級および2級		
受検手数料	実技18,200円（25歳未満の雇用保険被保険者は、9,000円減額になる）／学科3,100円		
受検申請 問い合わせ先	北海道職業能力開発協会または各地方職業能力開発協会		

Venture into the innovation!

2022.11.24^T_H-28^M_{ON}

@TOKYO BIG SIGHT [East Halls]

— 新たなイノベーションへの挑戦 —



INTERNATIONAL
GRAPHIC ARTS SHOW

IGAS2022

国際総合印刷テクノロジー&ソリューション展 [東京ビッグサイト 東展示棟]

主催:一般社団法人日本印刷産業機械工業会、プリプレス&デジタルプリンティング機材協議会 <https://www.igas-tokyo.jp>